

証券化市場の動向調査

～2011年度上半期の発行動向～

以下は、日本証券業協会及び一般社団法人全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2011年度上半期（2011年4月～9月）の結果を取り纏めたものです。

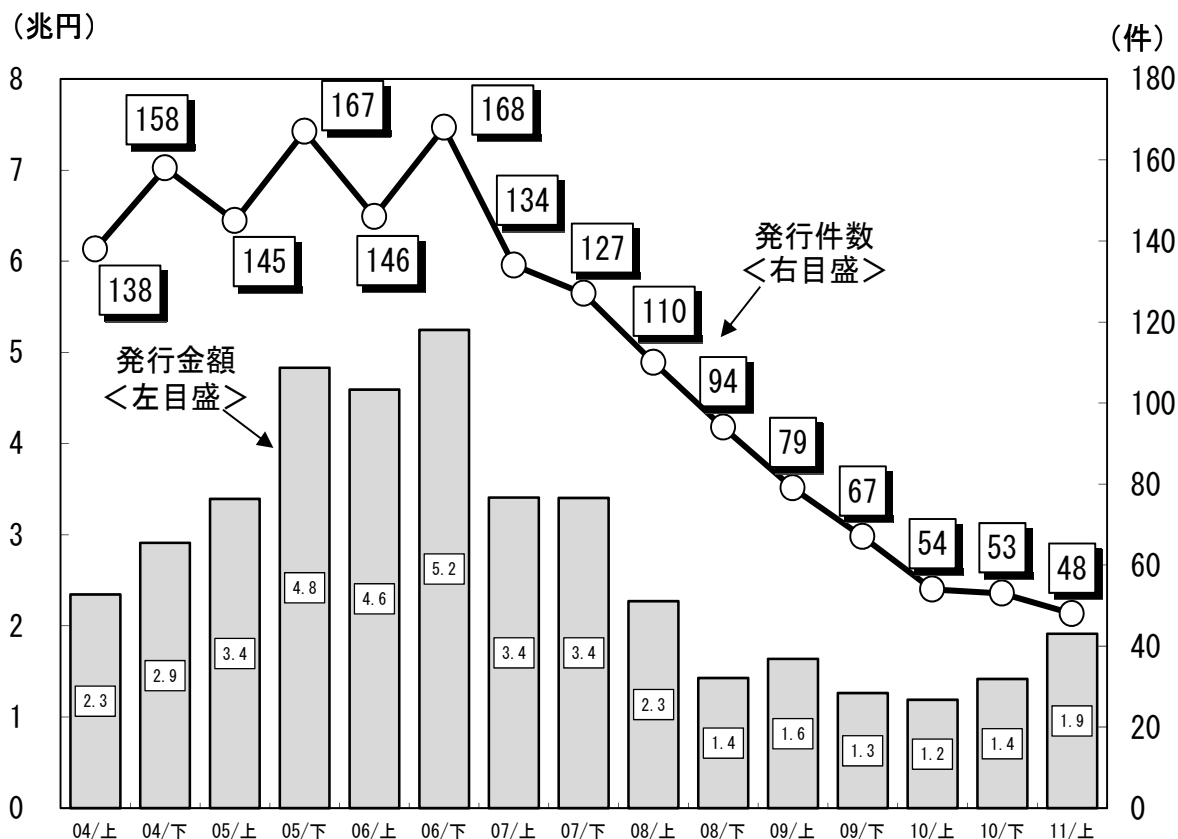
図表データについては、別紙をご参照ください。また、参考として、『証券化市場の動向調査』における項目毎の記載割合を取り纏めています。

1. 証券化商品全体の発行動向

2011年度上半期における証券化商品の発行動向をみると、金額は、住宅金融支援機構債券が半期ベースで過去最大の発行額となったことを主因に、調査開始（2004年度）以来最小であった前年同期を大幅に上回った（1兆9,123億円<前年同期比+61%>）が、件数は、引き続き前年同期を下回り、調査開始以来、最小となった（48件<同▲11%>）（図表1）。

（参考）2011年度上半期における普通社債の発行金額は4兆228億円（暫定数値）であった。

（図表1）証券化商品の発行金額・件数



2. 裏付資産別の発行動向

2011年度上半期における証券化商品の発行金額(合計1兆9,123億円<前年同期比+61%>)を「裏付資産」別にみると、「RMBS」(1兆5,064億円<同+81%>)が、住宅金融支援機構債券の発行額が過去最大となったことから、増加したほか、「CMBS」(563億円<同+309%>)、「売掛金・商業手形」(320億円<同+185%>)、「リース」(240億円<同+3%>)及び「その他」(2,300億円<同+92%>)も増加した。一方、「ショッピング・クレジット」(612億円<同▲57%>)及び「CDO」(25億円<同▲80%>)は減少した。「消費者ローン」の発行はなかった(図表2)。

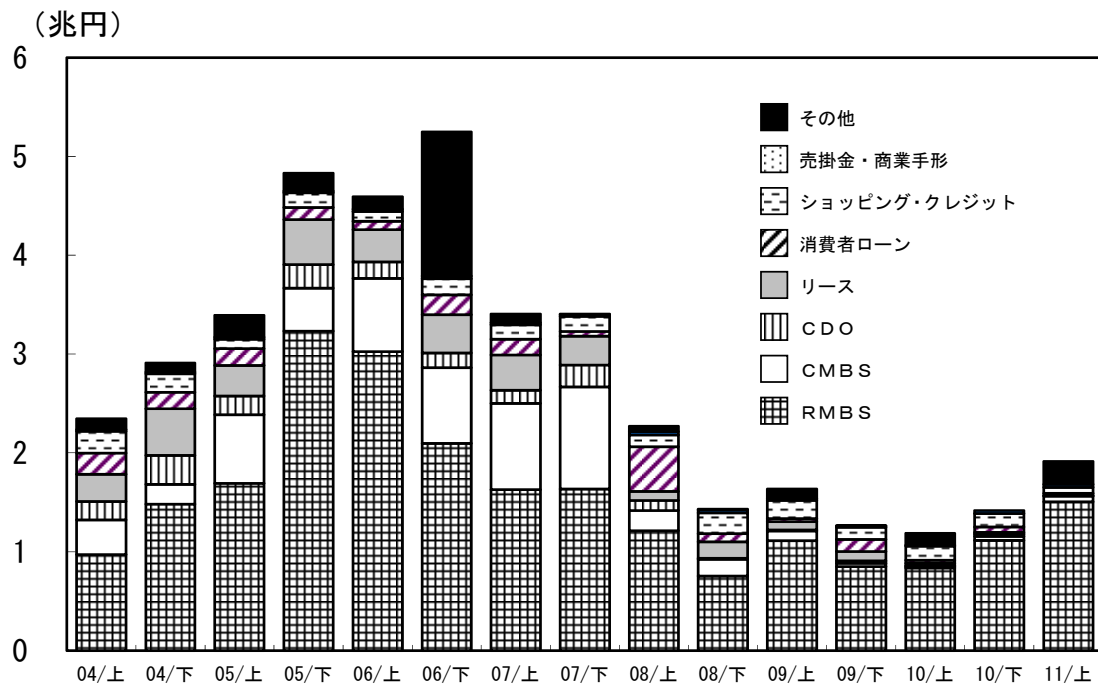
以上の結果、発行金額(合計1兆9,123億円)の「裏付資産」別の構成比は、下表のとおりとなり、「RMBS」が79%と、調査開始以来、最も高くなった。

発行金額の「裏付資産」別の構成比

(単位：%、括弧内は前年同期)

RMBS	CMBS	CDO	リース	消費者ローン	ショッピング・クレジット	売掛金・商業手形	その他
79	3	0	1	0	3	2	12
(70)	(1)	(1)	(2)	(3)	(12)	(1)	(10)

(図表2) 証券化商品の「裏付資産」別発行金額



(参考) 裏付資産の具体的な分類は、以下のとおり。

「RMBS (Residential Mortgage Backed Securities)」
：住宅ローン債権、アパートローン債権

「CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)」
：商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産

「CDO (Collateralized Debt Obligations)」
：企業向け貸付債権、社債、CDS等

「リース」：リース料債権

「消費者ローン」：消費者ローン債権、カードローン債権

「ショッピング・クレジット」：ショッピング・クレジット債権、オートローン債権

「売掛金・商業手形」：売掛債権、手形債権

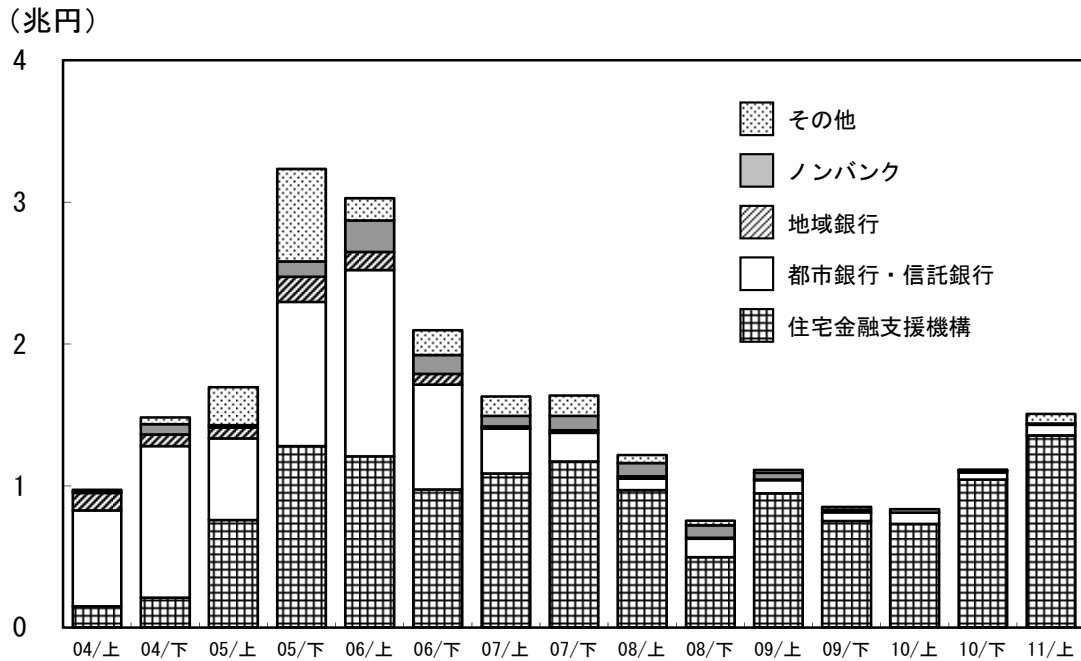
「その他」：基金債権、事業キャッシュフロー、診療報酬債権等

2. - (1) RMBSの発行動向

①オリジネーター別

RMBSの発行金額（1兆5,064億円）を「オリジネーター」別にみると、「住宅金融支援機構」が90%（1兆3,529億円）を占めた（図表3）。住宅金融支援機構債券の発行額は、半期ベースで過去最大となった。

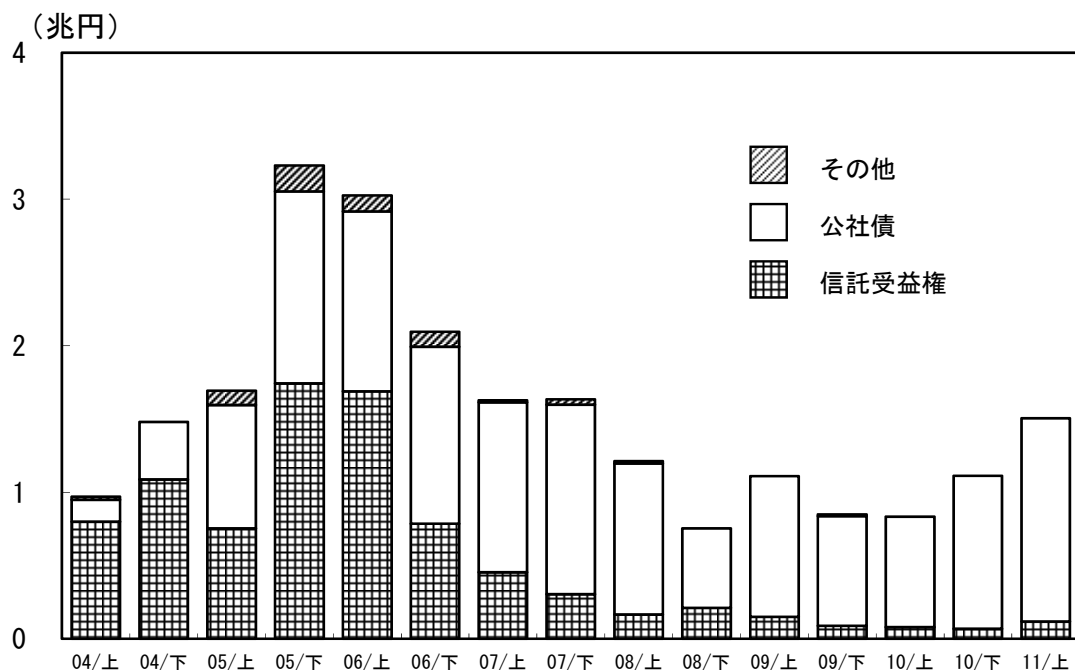
（図表3）RMBSの「オリジネーター」別発行金額



②発行形式別

RMBSの発行金額（1兆5,064億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が92%（1兆3,879億円）を占めた（図表4）。

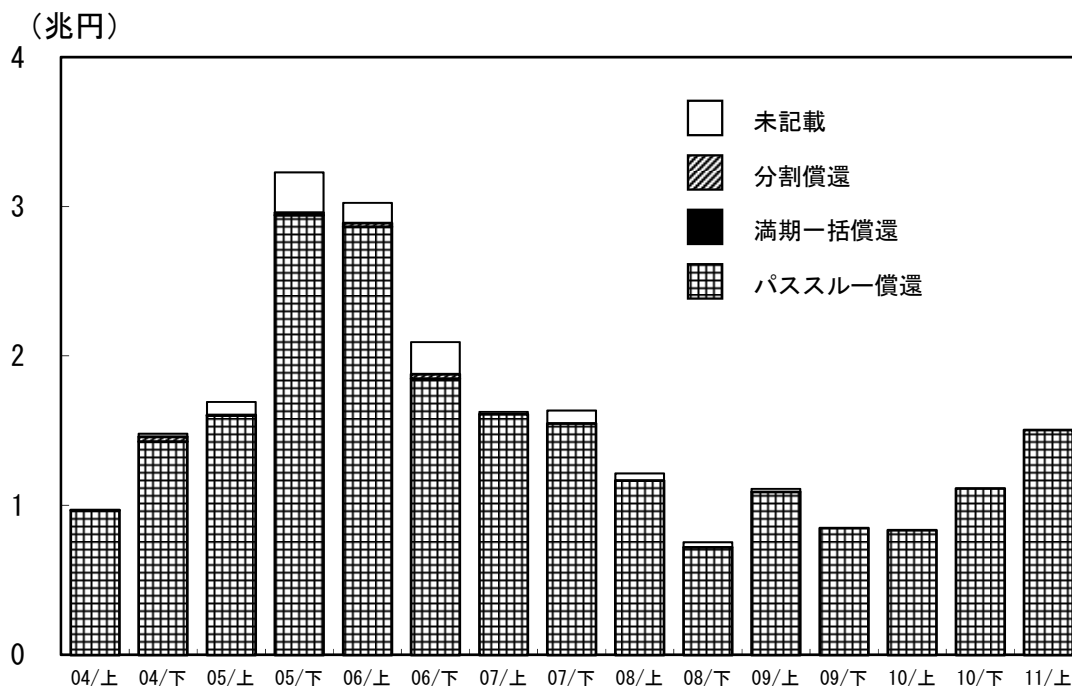
（図表4）RMBSの「発行形式」別発行金額



③償還方法別

RMBSの発行金額（1兆5,064億円）を「償還方法」別にみると、すべてが「パススルー償還」であった（図表5）。

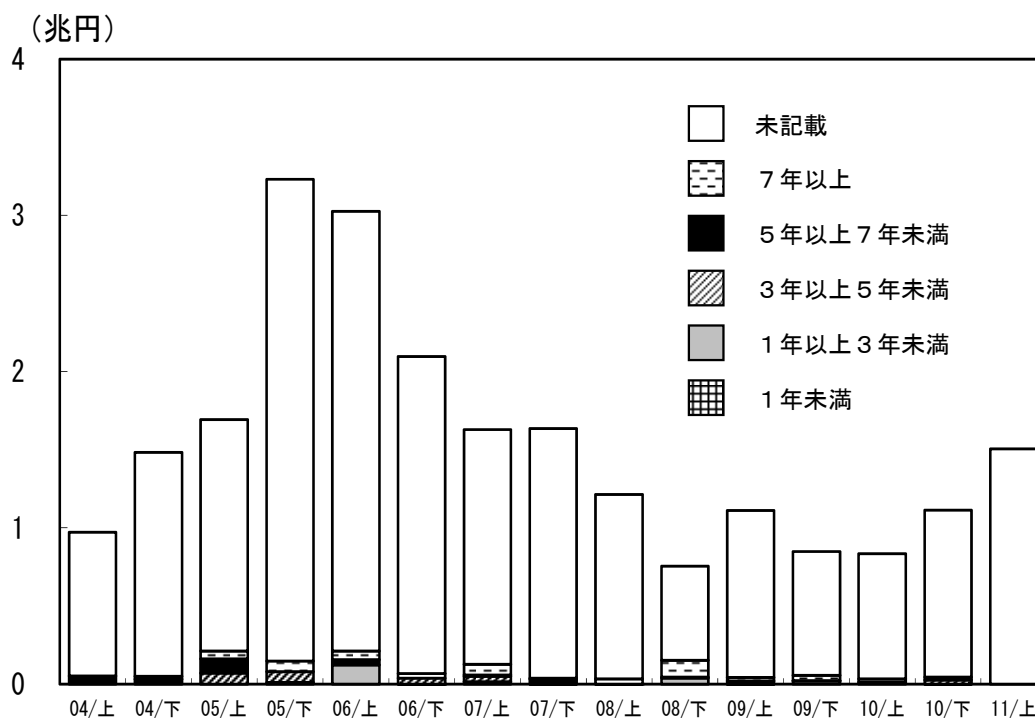
（図表5）RMBSの「償還方法」別発行金額



④予定／平均年限別

RMBSの発行金額（1兆5,064億円）の「予定／平均年限」については、すべてが「未記載」であった（図表6）。

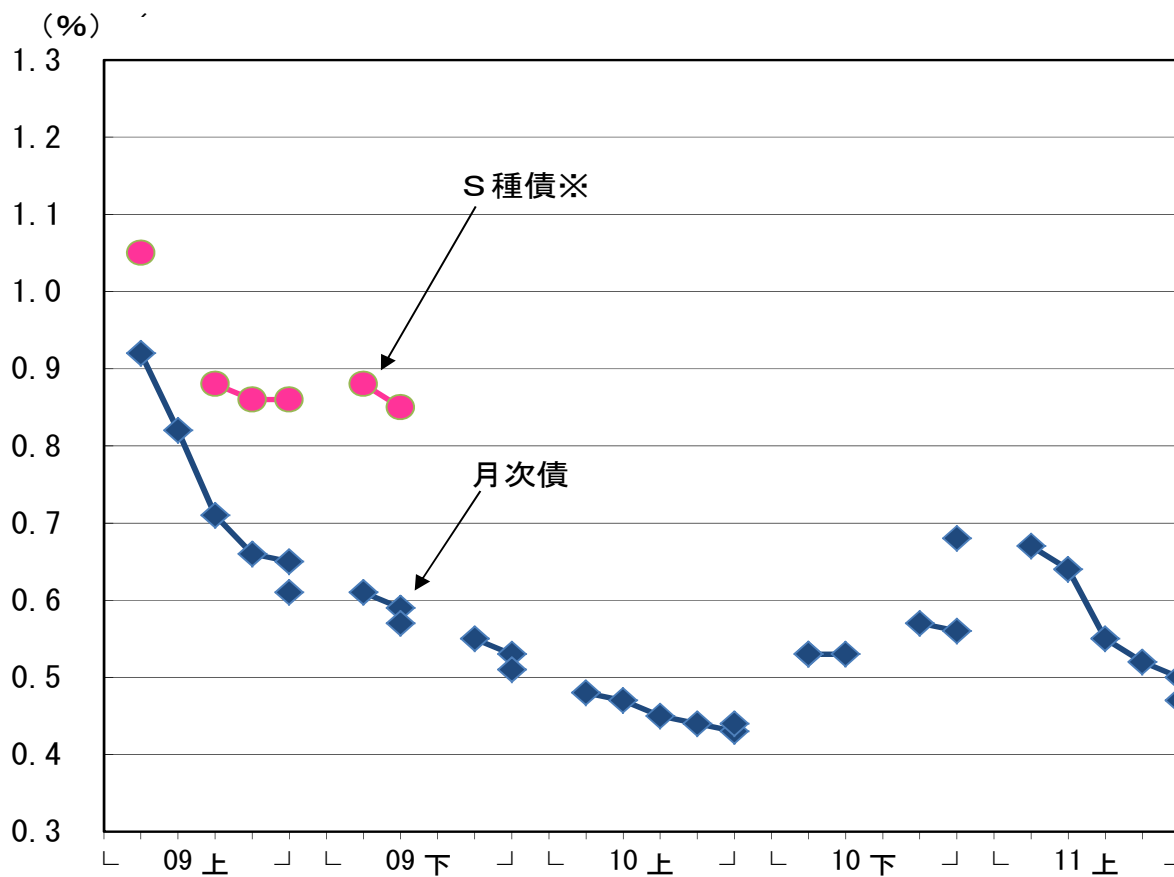
（図表6）RMBSの「予定／平均年限」別発行金額



⑤発行時のスプレッド

住宅金融支援機構RMBS（月次債）のローンチスプレッド（表面利率と条件決定時の国債利回りとの差）は、2010年度末に拡大した後、2011年度上半期においては縮小傾向を辿った（図表7）。

（図表7）住宅金融支援機構RMBSのローンチスプレッド



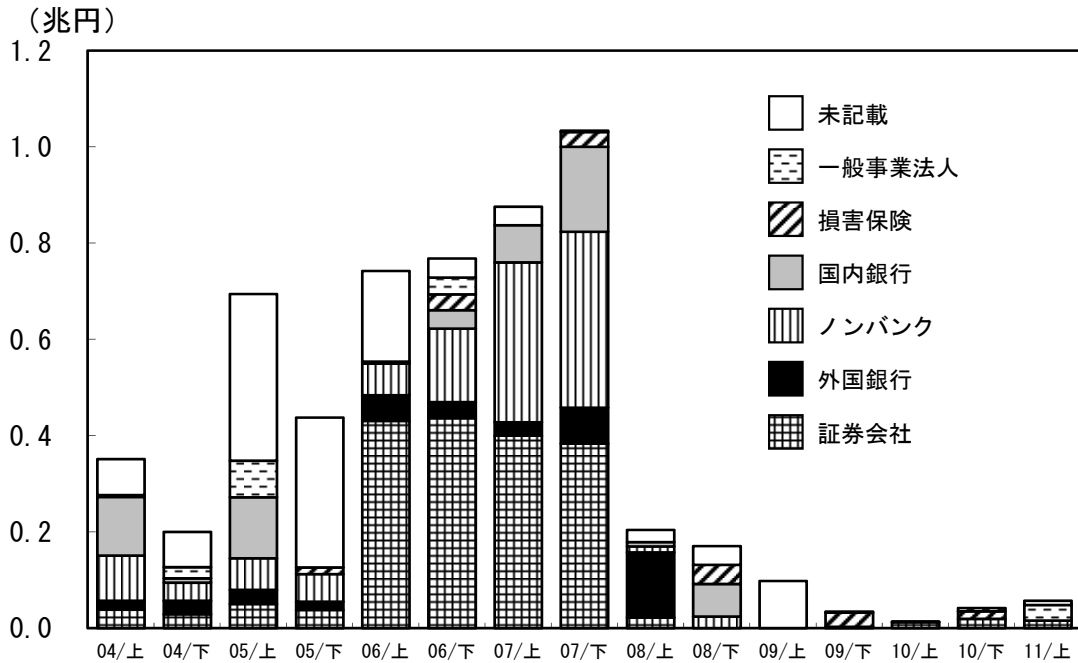
※ S種債（旧住宅金融公庫が過去に直接実行した住宅ローンを証券化したもの。）は2009年12月を最後に、発行されていない。

2. - (2) CMBSの発行動向

①オリジネーター別

CMBSの発行金額（563億円）を「オリジネーター」別にみると、「一般事業法人」が56%（316億円）を占め、次いで「証券会社」が28%（159億円）を占めた（図表8）。

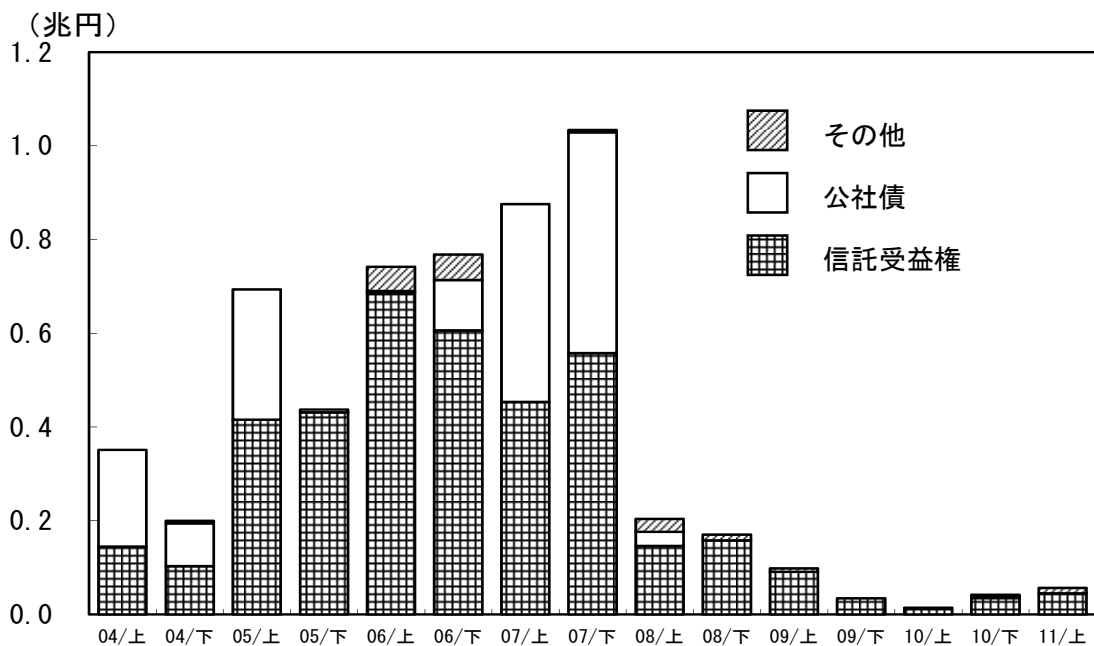
（図表8）CMBSの「オリジネーター」別発行金額



②発行形式別

CMBSの発行金額（563億円）を「発行形式」別にみると、「信託受益権」が80%（449億円）を占めた（図表9）。

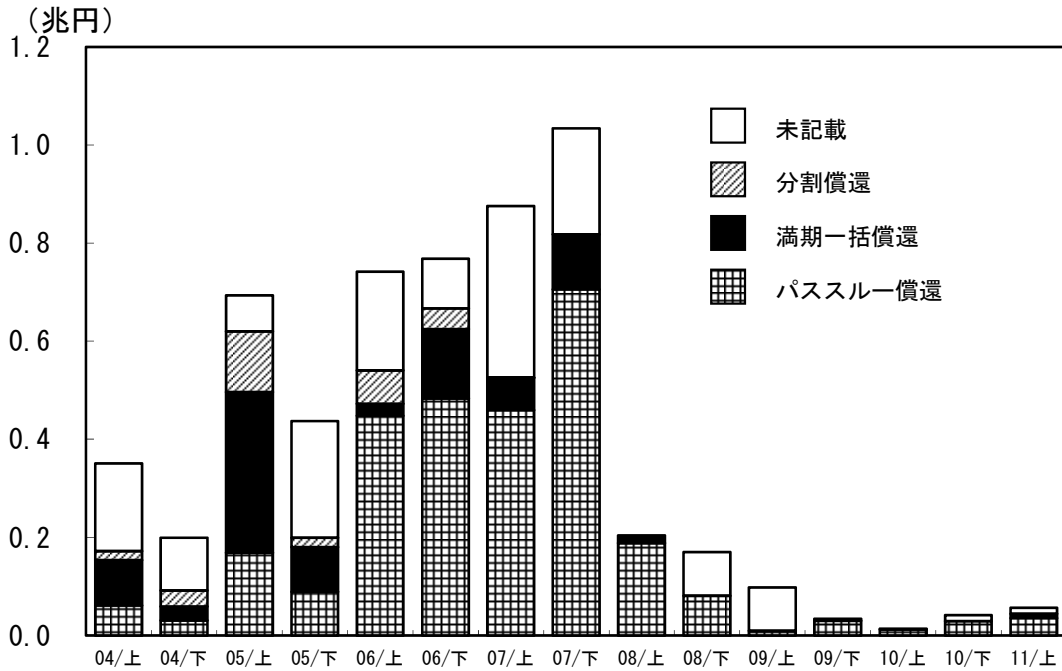
（図表9）CMBSの「発行形式」別発行金額



③償還方法別

CMBSの発行金額（563億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が63%（356億円）を占め、次いで「未記載」が21%（119億円）を占めた（図表10）。

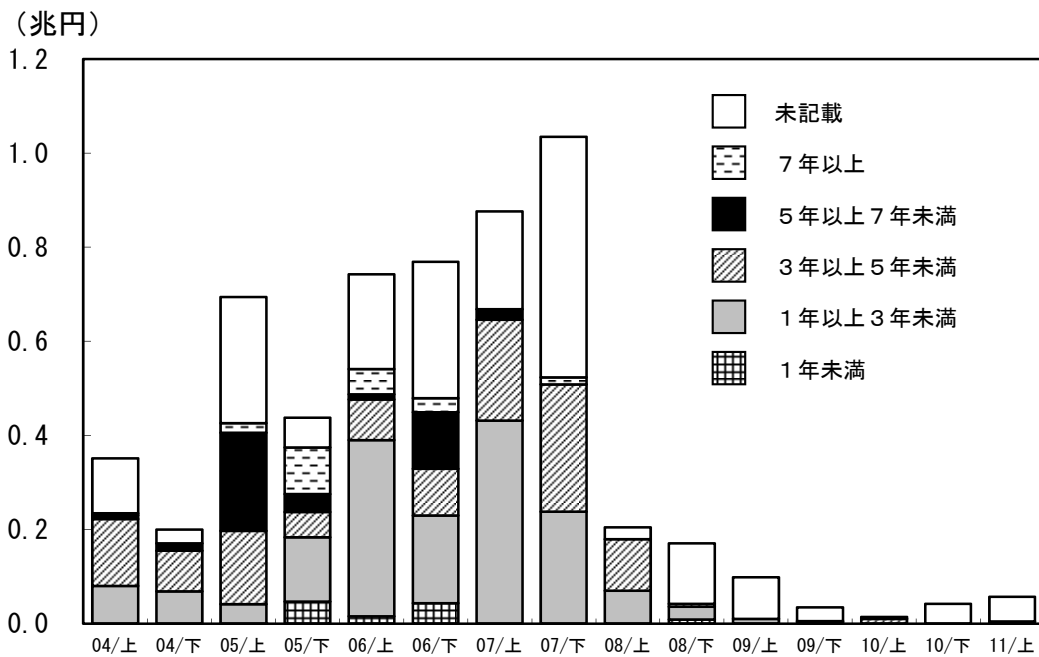
（図表10）CMBSの「償還方法」別発行金額



④予定／平均年限別

CMBSの発行金額（563億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が93%（523億円）を占めたが、記載のあったすべてが「3年以上5年未満」（40億円）であった（図表11）。

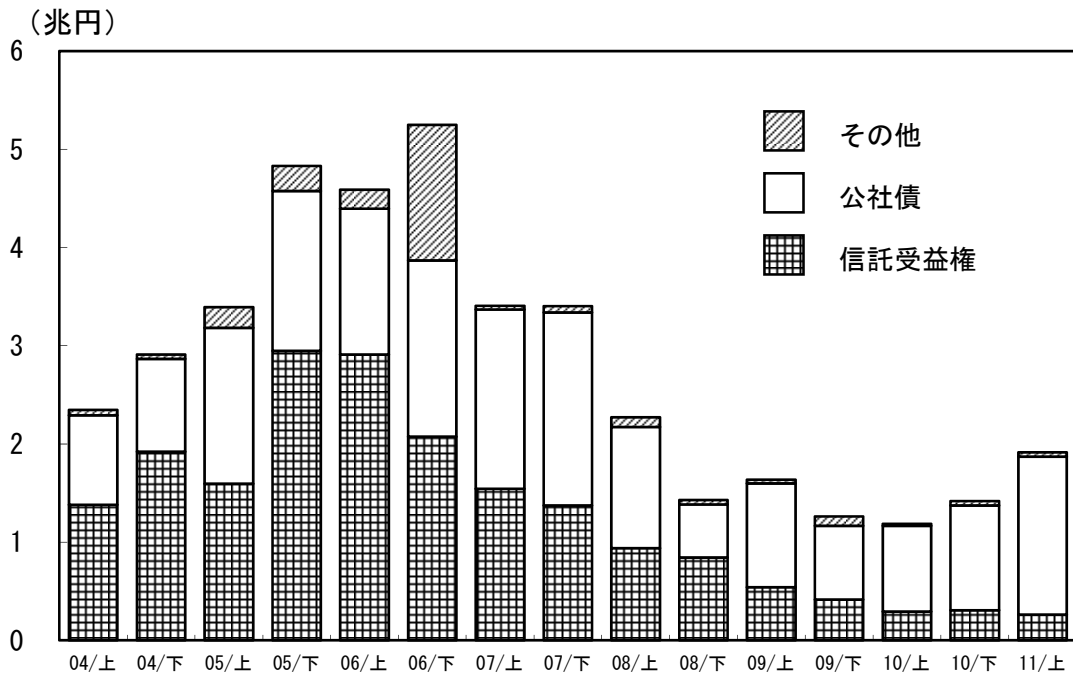
（図表11）CMBSの「予定／平均年限」別発行金額



3. 発行形式別の発行動向

2011年度上半期における証券化商品の発行金額（1兆9,123億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が84%（1兆6,079億円）を占めた（図表12）。

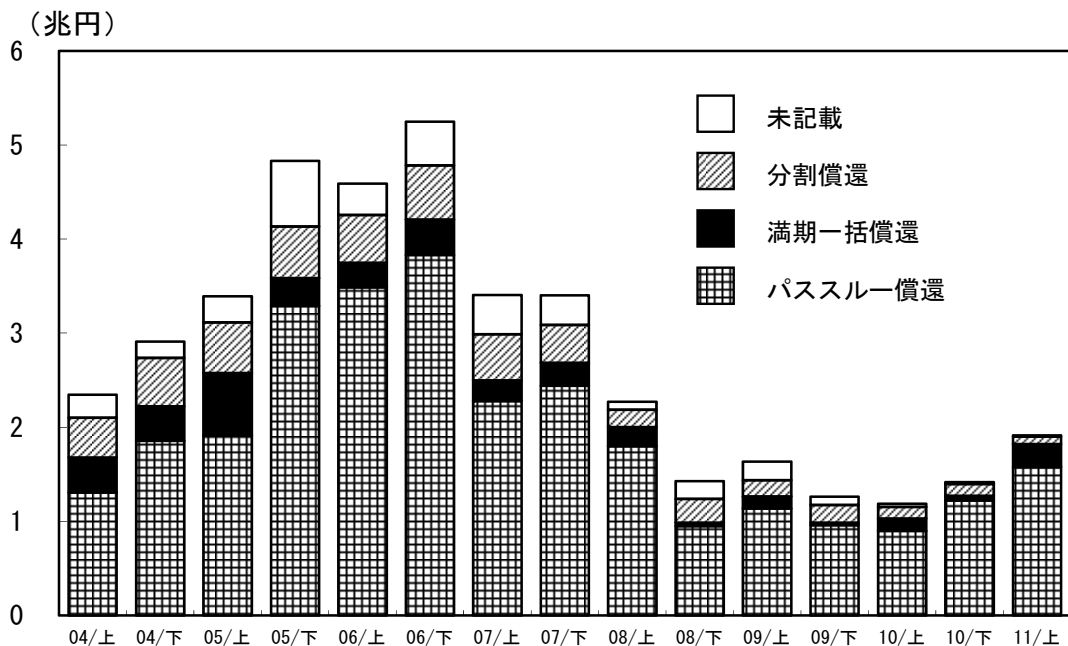
（図表12）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

2011年度上半期における証券化商品の発行金額（1兆9,123億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が82%（1兆5,774億円）を占めた（図表13）。

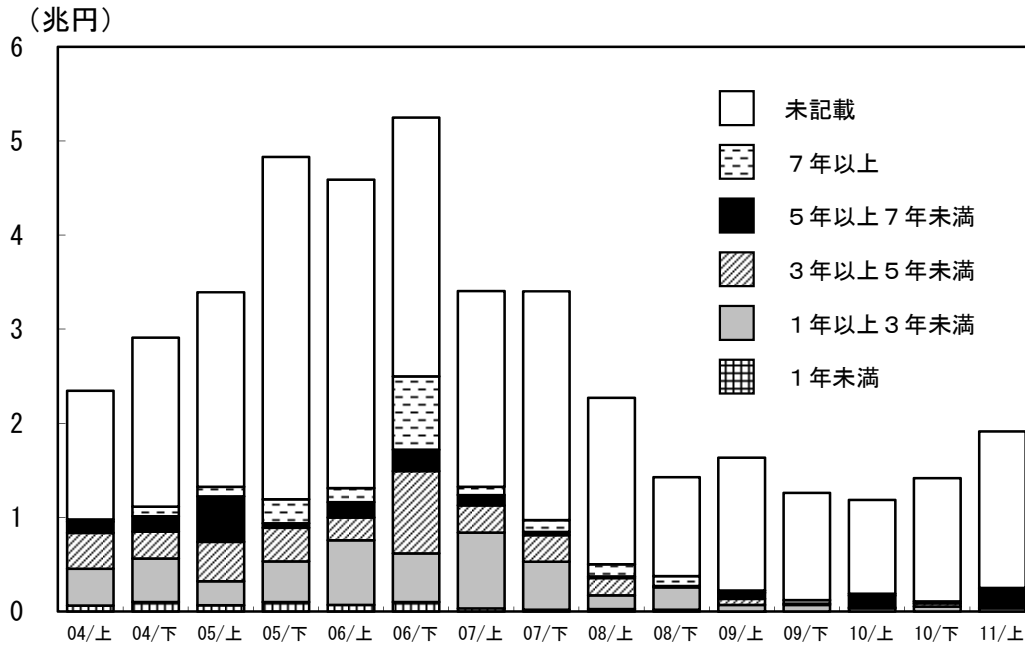
（図表13）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2011年度上半期における証券化商品の発行金額（1兆9,123億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が87%（1兆6,616億円）を占めたが、記載のある中では、「5年以上7年未満」が10%（2,000億円）と最も多かった（図表14）。

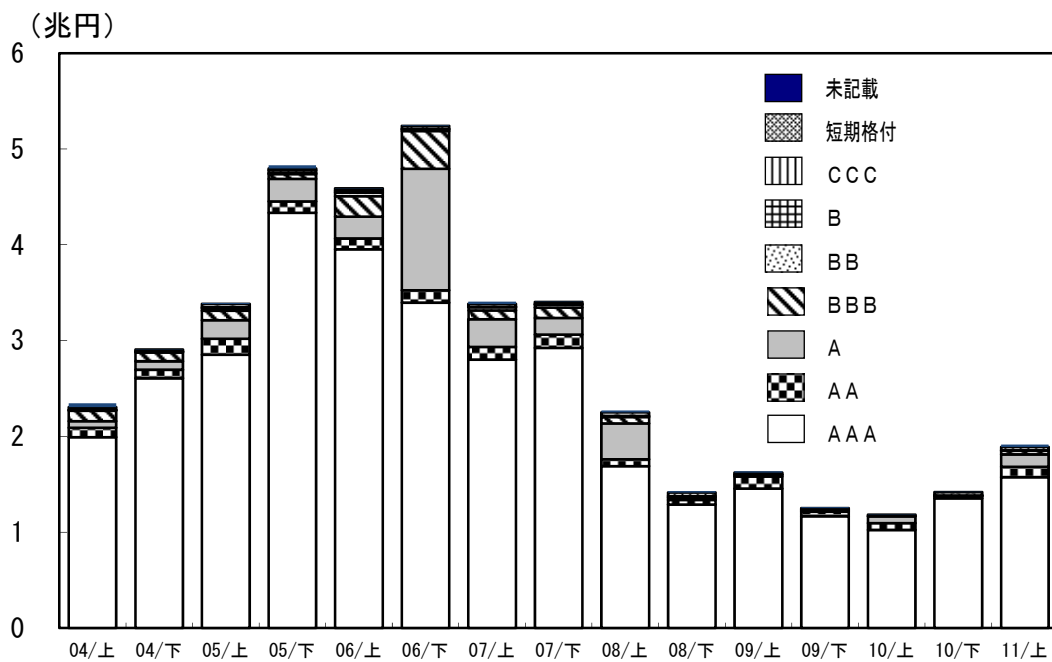
（図表14）証券化商品の「予定／平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

2011年度上半期における証券化商品の発行金額（1兆9,123億円）を「格付」別にみると、「AAA」が82%（1兆5,724億円）を占めた（図表15）。

（図表15）証券化商品の「格付」別発行金額



以上